

令和5年度第2回蒲郡市総合教育会議 会議録（要旨）

開催日時	令和6年1月29日（月）午後1時30分から午後2時30分まで
開催場所	蒲郡市役所5階 庁議室
出席者	<p>蒲郡市長 鈴木 寿明</p> <p>蒲郡市教育委員会 教育長 壁谷 幹朗 教育長職務代理者 渡辺 充江 委員 石渡 篤史 委員 水藤 頼利 委員 稲葉 千穂子</p> <p>【オブザーバー】 企画部長 大森 康弘 総務部長 平野 敦義 教育委員会教育部長 岡田 隆志</p> <p>【説明者】 企画部企画政策課サーキュラーシティ推進室長 羽田野 裕昭 総務部公共施設マネジメント課長 高橋 和裕 教育委員会事務局次長兼教育政策課長 三浦 次七郎 教育委員会事務次長兼学校教育課長 宇野 晶由 教育委員会学校給食課長 竹下 暁</p> <p>【事務局】 企画部次長兼企画政策課長 小田 剛宏 企画部企画政策課長補佐 伊藤 次郎 企画部企画政策課主事 大桑 智子</p>
議事	<p>1 地区個別計画について（報告）</p> <p>2 サーキュラーシティ蒲郡の取組について（報告）</p>
会議資料	<p>1-1 地区個別計画について</p> <p>1-2 蒲郡市特別支援学級のあり方（基本方針）【概略】</p> <p>2-1 サーキュラーシティ蒲郡の取組について</p>
会議内容	<p>1 地区個別計画について 【説明者：公共施設マネジメント課長・学校教育課】 地区個別計画について説明 蒲郡市特別支援学級のあり方（基本方針）について説明</p> <p>【委員の主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会も、特別支援学校のあり方で二つの学校が候補に挙がっていますが、継続して検討を重ね、なるべく早めにどちらか1つに絞ることが必要だと感じた。 ・北部小と西部小の子が上ノ郷城の取組みなどで一緒に学ぶ機会ができ、このような交流は本当に良いことだと思う。西部小学校の子ども達の少なさは課題に感じるため、西部小と北部小の集合については、なるべく早めに取り組んでいく必要があると感じた。そして、塩津、西浦の計画に続いて、市全体の整備が進んでいけると良い。

- ・塩津地区、西浦地区で複合化が動き出し、来年度には工事が始まる予定であり、完成を待ち遠しく思う。新しい環境の中でどのような教育をしていくべきか、子ども達のため、そして蒲郡市の将来のために、教育委員会としてはしっかりと考えて取り組んでいくべきである。
- ・近年、重要視されるようになった多様性を考えることで、自然にインクルーシブ教育にも繋がると思うが、学校の維持、管理、運営は費用的にも、教育の現場としてもこれまで以上に大変になると思う。
- ・未来を担う子ども達の教育のため、いろいろな課題があり、新しく始めなければならないことも大小様々ある。チーム蒲郡で、子ども達の夢を育み、蒲郡市に生まれて良かったと思える教育を実践して、これからも住み続けたいと思われるように取り組んでいきたい。(教育長)
- ・西部小の児童が非常に少なく、教育の現場として適した状況であるのか心配している。学校が一緒になる以前に、北部小と西部小の児童が一緒に学べる環境を試験的にでも作れると良いと思う。(市長)
- ・塩津地区・西浦地区は工事に入る段階だが、建設費用の高騰が他の公共施設の工事にも影響が出ており、塩津・西浦も安心はできないため、慎重に進めていきたい。

2 サークュラーシティ蒲郡の取組について

【説明者：企画政策課サーキュラーシティ推進室長・学校教育課長】

サーキュラーシティ蒲郡の概要・取組について説明

学校現場における取組について紹介（映像）

【委員の主な意見】

- ・市として良い取組みであるが、自分の生活で考えるとリサイクルとサーキュラーエコノミーの違いがわかりづらい。牛乳パックのリサイクルは、大切な資源を大切に使うことはとても良い活動である。
- ・子ども達は、学校や出前授業などでリサイクルを経験し、学びが進んでいると思う。しかし、保護者としては、家庭での取組み方がわからないため、家庭の中でもサーキュラーエコノミーに取り組めるような事例をどんどん共有してほしい。
- ・サーキュラーエコノミーの言葉は多く耳にするようになったが、七つの重点分野の具体的な事例を今後展開していただくと、市民もイメージし易くなり、より浸透していくと思う。
- ・学校の牛乳パックの取組みは非常に良いと思う。しかし、今後節水の時期もあることから、水の大切さと節水という二点もしっかりと認識して、リサイクルだけに重きを置かないようにしなくてはいけない。
- ・企業の立場からは、ヨーロッパでは、市民にもリサイクルした製品を使う考えが定着しているため、企業側もそういう対応をしている。学校での牛乳パックのリサイクルの取組みや出前授業など子ども達の教育をきっかけとして、蒲郡市民全体にも浸透するような取組みもしていく必要性を一番感じている。
- ・牛乳パックのリサイクルについて、スムーズに一連の流れをしっかりとやっていただき感謝をしている。やはり目的・意味をしっかりと子ども達に伝えて、自らの行動が将来・未来に関わってくるというところを、重ねて教育現場にお願いしたい。(市長)